

動物実験に関する検証結果報告書

国立大学法人 福島大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2024年3月

国立大学法人福島大学
学長 三浦 浩喜 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好 一郎



対象機関：国立大学法人福島大学
申請年月日：2023年7月27日
訪問調査年月日：2023年11月30日
調査員：松田幸久、佐々木宣哉、國田 智

検証の総評

福島大学は人文社会学群、理工学群及び農学群の3学群と大学院さらに環境放射能研究所等からなる国立大学法人である。動物実験は理工学群の共生システム理工学類及び2019年に新設された農学群の食農学類の教員、大学院生並びに卒業論文研究の学生、さらに2013年に新設された環境放射能研究所の教員の少数により行われている。飼養保管施設は共生システム理工学類と食農学類にあるが、いずれも300㎡以下と小規模で、収容されている実験動物はマウスとラットのみであり、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」を遵守して適正に実施されている。動物実験は文部科学省の「研究機関等における動物実験の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」という。）に適合した実施体制の下で適切に実施されている。2022年度の実験計画書は15件で「福島大学動物実験規程」に基づき学長の管理の下、動物実験委員会において適切に審査され学長承認されている。特に、動物実験に関して優れた見識を有する者を外部委員として参加させていることは評価できる。教育訓練は、基本指針及び飼養保管基準に則し適切に実施されている。情報公開に関しては大学のホームページに情報公開すべき項目が網羅されている。また、動物実験委員会が、施設の視察や動物実験の実施状況等の調査に基づいて問題点を把握し、速やかに改善を図る取組みも高く評価できる。飼養保管マニュアルの充実や動物実験実施者への再教育の導入などにより、動物実験の更なる適正化を推進されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「福島大学動物実験規程」は2022年4月に改訂され、学長の責務及び前回2015年の外部検証で指摘された教育訓練における「人と動物の共通感染症」に関する事項も追加され、国立大学法人動物実験施設協議会（以下「国動協」という。）が提案する最新の機関内規程雛形に準拠している。したがって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「福島大学動物実験規程」において基本指針に則した動物実験委員会の設置が規定され、委員の役割や構成も定められている。したがって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。
4) 改善に向けた意見
動物実験委員会は動物実験計画書の審査及び施設等の視察等も含め、適切に機能しているが、今後の委員の交代も考慮し動物実験委員会の職務や実験計画書の審査に関する細則等を整備することを検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「福島大学動物実験規程」において動物実験計画書の立案、審査、承認及び結果報告書等の手続きが規定され、各種様式も定められている。したがって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験結果報告に関する規定及び様式を定め、年度ごとの実施結果の把握が確実に行われるよう検討されたい。</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>遺伝子組換え実験については「福島大学遺伝子組換え実験安全管理規程」「福島大学遺伝子組換え実験安全管理細則」、放射性同位元素・放射線使用実験については「福島大学放射線障害予防規程」、化学発癌・重金属実験・その他危険物質使用実験については「国立大学法人福島大学化学物質管理規程」が制定されている。また、「福島大学動物実験施設における安全管理マニュアル」も定められている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設の設置は動物実験委員会の調査及び審査を経て、学長が承認する体制がとられている。2つある飼養保管施設にはそれぞれ管理者及び実験動物管理者を兼ねた動物実験等管理責任者が置かれ、各施設に整備された飼養保管マニュアルにより実験動物の飼養保管を行う体制となっている。したがって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

検疫、順化を含め、より詳細な飼育管理・健康管理に関するマニュアルを整備することを検討されたい。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

国立大学法人福島大学は、2015 年度に外部検証を受けており、今回 2 回目の外部検証である。前回の外部検証で指摘された事項は、改善されている。福島大学では、酪農経営企業等との家畜の改良を目的とした共同研究、また野生動物を利用した環境放射能の調査研究等についても、動物実験計画書の審査、承認を経て適正に実施していることから、「福島大学動物実験規程」に定められている「適用除外」の削除を検討されたい。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会は実験計画書の審査を基本的には対面で実施するが、新型コロナウイルスに対する感染防止対策のためメールにより審査し、それらの審査記録は適切に保管されている。飼養保管施設の内部調査により判明した問題点についても適切に改善指導している。したがって、動物実験委員会の活動状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「福島大学動物実験規程」に基づき、動物実験計画書の立案、審査、承認及び終了報告が適正に実施され、動物実験の自己点検票も提出されている。動物実験の自己点検票の確認により、問題点の抽出やそれらへの適切な対応が行われている。したがって、動物実験の実施状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果ではあるが、「基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>実験計画書の特殊実験区分には感染実験、遺伝子組換え使用動物実験、放射性同位元素・放射線使用実験及び化学発癌・重金属実験・その他の危険物質があるが、それらの実験は実施されていない。また、前回の外部検証で指摘された感染症・咬傷等発生時のマニュアルも整備されている。したがって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。<input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>飼育動物は少数のマウスとラットだけであり、それらの飼養は「福島大学動物実験規程」共生システム理工学類及び食農学類にある飼養保管施設の使用申し合わせに基づき適正に実施され、微生物学的モニタリングも実施されている。また前回の外部検証で指摘された動物の逸走時の対応マニュアルも整備されている。各飼養保管施設は「飼養保管状況報告書」を毎年度提出し、動物実験委員会は施設視察と指導を行い、その詳細な報告書が保存されている。したがって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験委員会の視察により、飼養保管施設の一部にケージ類の整理整頓が不十分な点、飼料の保管状況に関して不適切な点が確認されたが、適切な指導により改善されている。したがって、施設等の維持管理の状況について、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」との自己点検・評価の結果ではあるが、「基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

飼育室の湿度、換気等については、管理目標の基準を定めることが望ましい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

「福島大学動物実験規程」に基づき、動物実験従事者全員を対象として動物実験委員会の委員により教育訓練が実施されている。前回の外部検証で指摘された「人と動物の共通感染症」についても教育内容に含まれている。また、動物実験等管理責任者は、日本実験動物学会が実施している実験動物管理者等研修会を受講している。したがって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物実験を取り巻く状況は変化していることから、教員に対しては実験計画書の有効年数を目

途に再教育の実施を検討されたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験規程類、自己点検・評価報告書と動物実験申請及び承認件数、動物飼養数、飼養保管施設、動物実験委員会委員、教育訓練の実施状況並びに前回の外部検証結果報告等が大学のホームページに掲載されている。したがって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

公開されている委員会委員について、基本指針の3要件に沿って整理されたい。

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし。